

平成 29 年 7 月 9 日（日）施行

## 第 187 回 全経簿記能力検定試験 2 級 商業簿記 解説

### 第 1 問

1. 繰越利益剰余金（純資産）¥750,000 を配当および処分する。株主総会では配当金¥500,000 は、支払うことを決めただけで、まだ支払いはしていないため、未払配当金とする。
2. 前期末に以下のとおり見越し計上している。
 

(借) 未 収 利 息	15,000	(貸) 受 取 利 息	15,000
-------------	--------	-------------	--------

 これを当期首に再振替。
3. 買掛金¥80,000 を電子記録債務に振り替える。
4. 完成までに支払っていた¥2,400,000 は以下のように処理してある。
 

(借) 建 設 仮 勘 定	2,400,000	(貸) 現 金 等	2,400,000
---------------	-----------	-----------	-----------

 これが完成したので建設仮勘定と現金¥1,200,000 を合わせて建物に振り替える。
5. 備品の帳簿価額は、¥450,000－¥390,000＝¥60,000  
これを¥72,000 で売却しているので、¥12,000 の売却益である。
6. 支店の損益は、本店勘定に振り替える。
7. 中間申告時の納付なので、仮払法人税等（資産）で処理する。

### 第 2 問

期首貸借対照表

現 金 142,000	買 掛 金 193,000
売 掛 金 315,000	借 入 金 290,000
商 品 ①183,000	資 本 金 ②500,000
土 地 400,000	繰越利益剰余金 ④57,000
1,040,000	1,040,000

仕 入

期中総額 2,856,000	仕入値引 85,000
繰越商品 ⑤183,000	繰越商品 ⑤234,000
	損 益 ⑥2,720,000
3,039,000	3,039,000

損 益

仕 入 ⑥2,720,000	売 上 ⑦3,879,000
その他費用 974,000	その他収益 86,000
繰越利益剰余金 ⑧271,000	
3,965,000	3,965,000

繰越利益剰余金

次期繰越 ⑨328,000	前期繰越 ④57,000
	損 益 ⑧271,000
328,000	328,000

期末貸借対照表

現 金 262,000	買 掛 金 176,000
売 掛 金 ⑩398,000	借 入 金 340,000
商 品 234,000	資 本 金 550,000
土 地 500,000	繰越利益剰余金 ⑨328,000
1,394,000	1,394,000

売 上

売上戻り 36,000	期中総額 3,915,000
損 益 ⑦3,879,000	
3,915,000	3,915,000

資 本 金

次期繰越 ⑩550,000	前期繰越 ②500,000
	増 資 50,000
550,000	550,000

- ① 借方合計より差額で 183,000 を求める。
- ② 期末資本金 550,000 は増資 50,000 を足した金額なので、期首資本金は 500,000 となる。
- ③ ②を記入することにより、次期繰越額 550,000 を求める。
- ④ ①、②を記入することにより繰越利益剰余金 57,000 を求める。
- ⑤ 売上原価算定の仕訳を行う。
- ⑥ 売上原価 2,720,000 を損益勘定に振り替える。
- ⑦ 純売上高 3,879,000 を損益勘定に振り替える。
- ⑧ 損益勘定の差額を繰越利益剰余金に振り替える。
- ⑨ 合計がわかっているので差額で 398,000 を求める。

期首資本金 = 上記より ¥500,000.

期末繰越利益剰余金 = 上記より ¥328,000

当期純利益 = 上記より ¥271,000

売上総利益 = 純売上高 ¥3,879,000 — 売上原価 ¥2,720,000 = ¥1,159,000

### 第3問

5月15日	(借)	買掛金	70,000	(貸)	仮払金	70,000	出金伝票
"	(借)	現金	50,000	(貸)	売上	50,000	入金伝票
"	(借)	仕入	10,000	(貸)	前払金	10,000	振替伝票
"		仕入	50,000		現金	50,000	出金伝票
"	(借)	現金	100,000	(貸)	当座預金	100,000	入金伝票
"	(借)	買掛金	20,000	(貸)	仕入	20,000	振替伝票

### 第4問

#### 【問1】

商品有高帳作成の際、売上値引（商品有高帳には記載しない）に注意する。

#### 【問2】

純売上高  $(144,000 - 1,800 + 48,000)$  — 売上原価  $(36,000 + 135,400 - 48,120)$  = 66,920

#### 【問3】

純売上高  $(144,000 - 1,800 + 48,000)$  — 売上原価  $(36,000 + 135,400 - 49,200)$  = 68,000

## 第5問

### 付記事項

#### 1. 仮受金の処理

(借) 仮受金	83,000	(貸) 売掛金	80,000
		受取手数料	3,000

#### 2. 現金過不足の処理

(借) 現金過不足	9,000	(貸) 広告費	9,000
-----------	-------	---------	-------

### 決算整理事項

#### 1. 売上原価の算定

期首商品棚卸高は残高試算表より ¥450,000

(借) 仕入	450,000	(貸) 繰越商品	450,000
繰越商品	420,000	仕入	420,000

#### 2. 貸倒引当金の見積もり

$(¥1,430,000 - 80,000) \times 2\% = ¥27,000$

貸倒引当金残高 ¥8,900 を差引き ¥18,100 繰り入れる。

(借) 貸倒引当金繰入	18,100	(貸) 貸倒引当金	18,100
-------------	--------	-----------	--------

#### 3. 減価償却費の計算

備品の取得価額は ¥516,000、耐用年数 8 年、残存価額はゼロなので、年間の減価償却費は、

$¥516,000 / 8 \text{年} = ¥64,500$

(借) 減価償却費	64,500	(貸) 備品減価償却累計額	64,500
-----------	--------	---------------	--------

#### 4. 有価証券の評価替え

有価証券運用損益は  $¥253,000 - ¥265,000 = \Delta ¥12,000$

(借) 有価証券運用損益	12,000	(貸) 売買目的有価証券	12,000
--------------	--------	--------------	--------

#### 5. 消耗品費の処理

(借) 消耗品	18,000	(貸) 消耗品費	18,000
---------	--------	----------	--------

#### 6. 支払家賃の繰延べ

(借) 前払家賃	75,000	(貸) 支払家賃	75,000
----------	--------	----------	--------

#### 7. 支払利息の見越し

(借) 支払利息	5,000	(貸) 未払利息	5,000
----------	-------	----------	-------

#### 8. 受取手数料の繰延べ

(借) 受取手数料	2,000	(貸) 前受手数料	2,000
-----------	-------	-----------	-------

#### 9. 法人税等の処理

(借) 法人税等	263,400	(貸) 仮払法人税等	123,000
		未払法人税等	140,400

法人税等 =  $¥878,000 \times 30\% = ¥263,400$